

# “持続する社会の「新・システム創成」”

～そのための「イノベーション」を可能にするためには何が必要か～

(23. 1. 26)

(1) 金融危機後の実経済の枠組みがドラスチックに変化し続けている

① 政治、経済、社会、市民が直面する問題の山積み

例：地球温暖化・生物多様性、資源・エネルギー・食料の枯渇、感染症の拡大、生活の質、社会の安全と安心、人間の安全保障、産業競争力、人口の減少と社会の変容、多様なニーズ 等々

② 旧来の社会構造(システム)の終焉と新しい時代への幕開

金融(バブル)資本主義→持続成長モデル→

E&E(エコロジー&エコミー)→全体最適化

政・産・学・官・市民の問題意識の共有と行動

※グローバル経済の急激・本格化

直前の「ものづくり工程分業・貿易の世界的3角構造」からのドラスチックな構造変化

※環境変化に対応した進化 →大田区・ものづくりイノベーション、世界の母工場へ

(2) ものづくりイノベーション

研究・技術開発～事業化までの組み方を戦略的にデザインする。大田区は、先進モデル。

# 戦略的オープンイノベーションプラットフォーム構築 (ものづくりのin~outをデザインする。縦割りではなく、組み合わせ・補完関係)

